

さとにこども園

【特によいと思う点】

○園児の学びや発達を促す環境が整えられ、集団活動の中で遊びを中心とする園児の主体的な活動が見られ、園児の「遊び」に対する意欲が、「学び」への基盤を育んでいます。

こども園における教育や保育は周囲の人・もの・事柄との関わりを通して行うものでもあり、園児が自らの興味や関心に基づいて、自主的・主体的に関わりたくなるものであることが大切です。「面白そう」「やってみたい」「もっとこうしたい」「こんなこと試してみたい」と思って園児自身が遊びを工夫し、自らの学びにつなげ、園生活の主体としての実感がもてるように配慮することが求められます。保育教諭等は場やもの、人の配置を園児の発達や特性を踏まえて興味や関心に応じた環境の設定が創意工夫され、時には保育教諭等も一緒にやってみたりして園児が互いの考えに触れることができるように構成しています。

○職員研修を充実させ、職員同士の話し合いや共通理解の方法を工夫しながら、園児一人一人の発達や個性に応じた関わりが保育教諭等により配慮され、園児が共に育ち、共に学び合いながら豊かな経験ができるよう工夫されています。

職員の勤務時間を増やすことなく、しかし、より効果的な職員研修となるように研修の在り方や方法を工夫しながら保育の質の向上が目指されています。職員間の連携を円滑にすることで、園児一人一人の発達や特性に応じた援助や声かけが適切に行われています。保育教諭等が園児一人一人の発達やその特性などの違いを理解し、応答的に共感的に温かく関わることでできています。互いの信頼感で結ばれた温かい集団は、園児一人一人がかけがえのない存在であると捉える保育教諭等の関わりの賜物だと思います。一人一人の良さを生かした集団を形成していくことで園児は自信をもって人と関わる力を育んでいくことと思います。

【さらなる改善が望まれる点】

○新園舎の工事による遊びのスペースの制約があり、限られた環境設定の中で、活動を展開していかねばなりませんでした。4月には新園舎が完成することですので、今後はさらなる園児にとって魅力的な保育環境の提供となることを期待します。

園児の心身の健康と情緒の安定を図るため、園児が心地よく過ごすことができるように環境を整えることはとても大切なことです。新しい園舎は長い時間を園児が過ごすのに、より快適で安心・安全で過ごすことができる、素敵な園舎となっていることと思います。工事が終了すれば、以前のように園内外での活動が十分に保証できるものと思われます。職員の意見を反映しながら、園児の生活にとって快適で安心できる場、そして、多くの学びが期待できる園舎となることを期待しています。

○園運営に向けたビジョンを職員は共通理解し、目標に向けた取り組みを行われていますが、今後は保護者にもその情報共有と共通理解がさらに行われるよう期待します。

職員会や職員研修等を通じて全職員に園の重点目標や方針は伝えられており、チームワークの構築にも努めています。また、園児一人一人を大切にした様々な保育環境の設定がなされていますが、保護者にもその内容や取り組みが伝えられると保護者の安心感や職員への信頼関係がさらに増し、こども園の教育及び保育活動への参加も促されるものと思われます。教育及び保育活動に対する保護者の積極的な参加は、保護者自らが子育てを実践する力の向上にとっても大変効果的であり、さらに子どもと関わる楽しさを感じることができるようにもなってくると思われます。保護者への啓発においては、職員の負担を増やすのではなく、既に実施している保護者への啓発の方法等を工夫することで進めていくとよいと思います。

学校法人冬木学園
畿央大学
教育学部 現代教育学科
准教授 山根 康代